

町内図書施設で蔵書検索システム導入 貸出しもバーコード化

あぶた、みずうみ両読書の家と洞爺総合センター図書室は、3カ所の各施設の蔵書を横断して検索できるシステムを導入し、4月1日から運用を開始しました。

インターネットや各施設に置いたタブレット端末から、検索が可能となり、利便性が大幅にアップしました。同システムで、3施設の開架図書計4万5千冊の書籍が、すぐにどこ施設にあるのかが分かる仕組みとなり、そのほか端末からは、電子図書や児童向け学習アプリを自由に使えるようになっています。

貸出しシステムも同日から新たにバーコード読み取り式にし、手続きが簡単になりました。



端末で検索を行う児童たち

洞爺湖の観光幕明けを告げるイベント「湯上り



各地の銘酒を味わう参加者

に乾杯！第19回洞爺湖温泉銘酒まつり」（洞爺湖銘酒倶楽部主催）が、4月9日洞爺湖温泉のホテルで開かれ、地元参加者の他札幌、室蘭などから約200人の愛飲家らが参加して、地場産品と地酒、ワイン、カクテルなど100種類以上の銘酒を楽しみました。

会場では、各種地酒などを堪能したほか、ジオたまごやジオたまごを使用したパンの試食を行い、洞爺湖温泉の新名物として参加者にピーアールしました。引き続き洞爺湖酒王決定戦が行われ、クイズや利き酒などで競い合い、札幌市と江別市の女性が同点で共に第5代の酒王に輝きました。

洞爺湖観光の幕明け 銘酒まつり開く

町内在住の加賀谷芳夫さんの写真展が、4月11日から22日まで洞爺



会心作の前に立つ加賀谷芳夫さん

湖町役場ロビーで開催され、洞爺湖、ニセコ羊蹄周辺の風景写真27点が展示されました。役場ロビーでの写真展は、2年ぶり2回目。5年前から本格的に写真を始め、風景を中心に撮影しています。

展示された写真は、ウィンザーホテルの屋外駐車場から洞爺湖に昇る朝日の瞬間をとらえた「朝霞に浮かぶ」など、地元の景観の素晴らしさを改めて認識させるものとなっています。加賀谷さんは、「これからも写真を通じて洞爺湖の美しい景色を伝えていきたい」と意気込みを話しました。

洞爺湖周辺の景観を切り取る 加賀谷芳夫写真展

早春の金比羅山を歩く 噴火遺構見学

4月16日の金比羅火口災害遺構散策路のゲートオープンに先立ち「オープン前の金比羅山に登ろう！」（洞爺湖ビジターセンター主催）が4月16日、6名が参加して行われ、約2.2kmの行程を春の匂いを感じながら歩きました。

洞爺湖ビジターセンター職員の後藤静さんのガイドで、有くん、珠ちゃん火口まで登り、復路は、噴火遺構公園を見学。参加者は、熱泥流の恐ろしさを改めて実感していました。白老町から参加した男性は、「最近洞爺湖を訪れていないので参加したが、大変勉強になった」と早春の金比羅山の散策を楽しんでいました。



ガイドの説明を受ける参加者の皆さん

まちのわだい

